

4  
(月)

福音を証する(福音化) 当為性

使17章1~9節 パウロは、いつものように人々のところに入って行き、三回の安息日にわたって、聖書に基づいて彼らと論じ合った。そして、「キリストは苦しみを受け、死者の中からよみがえらなければならなかったのです。私があなたがたに宣べ伝えている、このイエスこそキリストです」と説明し、また論証した。(2-3)

福音を知っている Remnant は、今の答えと、これから受ける答えを知ることができます。そのためには、キリストについてよく知しましょう。キリストを知る Remnant が味わうことがあります。

1つ目、キリストの当然性です。私たちはサタン、暗闇と罪、地獄の背景の中に陥って生きています。この問題は、キリストでなければ解決できません。この真理は、当然、知る必要があることです。2つ目、キリストの必然性です。神様が私をなぜ呼ばれたかを知りましょう。神様がなぜ私を、この時、ここに、この教会に呼ばれたかを見つけてみましょう。3つ目、キリストの絶対性です。神様の絶対目標のことを意味します。神様の驚くべき計画を見つければ最も重要な答えです。4つ目、問題があるときも、当然、必然、絶対性を同時に見てください。「当然来る問題が来たのだな。この時のために、私を呼ばれたのだな。神様の絶対計画は何だろうか」と考えるのです。5つ目、当然、必然、絶対を知る Remnant ならば、現場で福音を伝えるようになります。すると、現場では思いもよらないことが起こるでしょう。

Remnant はすべての人が当然知る必要がある福音を伝える、当然の祝福を味わうように祈りましょう。

神様、福音を知って福音を宣べ伝える Remnant になりますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

5  
(火)

イエス様のビジョン

マタ 9 章 35~38 節、28 章 16~20 節、ヘブ 11 章 1~2 節 ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子とせよ。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。」(マタ 28:19-20)

Remnant は、自分に起こるすべてのことを、神様がみことばの中で与えてくださった\*ビジョンとして見ることが出来ます。ヨセフは自分が奴隷として行ったことをビジョンとして見ました。ヨセフに起こったすべてのことがビジョンにつながりました。Remnant も、この答えを受けることができます。

1つ目、\*日常の中でビジョンが見えます。ヨセフは日常の中で、ビジョンがある生活を送りました。2つ目、わざわざの中で、まことのビジョンが見えます。イスラエルが最も苦しい時でした。イエス様は、弟子に、収穫は多いが、働き手が少ないと言われました。苦しみの中で、その現場が見えたのです。3つ目、事件の中でビジョンが見えます。事件が起こったとき、悩んだり、ほかの道を選んだりしてはなりません。Remnant は、事件の中でビジョンを見ました。4つ目、教会を通してビジョンが見えます。教会で礼拝をささげるたびに答えを見つけ出します。以前の答えとつなげて、見つけてみましょう。5つ目、伝道、宣教を通して、ビジョンが見えます。伝道と宣教の中で会う弟子にミッションをあげることは、とても重要です。小さいことのようにですが、ひとりが恵みを受ければ、全体が変わります。

イエス様のビジョンとつながるすべてのことを Remnant の生活の中で見つけましょう。

\*ビジョン：見える未来の状況を意味します。

\*日常：毎日繰り返される生活を意味します。

神様、私が会うすべてのことの中でビジョンを見ますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

## 伝道に対するイエス様の方法

**マタ4章19節** イエスは彼らに言われた。「わたしについて来なさい。人間をとりよして漁師にしてあげよう。」

Remnantは福音を理解すれば、すべてが回復します。そして祈りを知れば、どこにいても生き残ることができます。特に、イエス様の伝道方法である「ともに」を知りましょう。祈りを教えてくださったイエス様は、多くの人を癒やして力を与えられました。そして、少数を呼んで現場に行き、直接、伝道を見せられることもありました。

1つ目、マルコ3章13節から15節までの内容を知りましょう。イエス様は、ともにいるために、ご自分が望む者たちを、その人々の力とは関係なく呼ばれました。そして、その人々を遣わして宣教をさせ、悪霊を追い出す権威も与えられました。2つ目、復活メッセージを通して分かることがあります。イエス様は天と地のすべての権威を持っておられ、御座でともにいると言われました。ステパノが石に打たれて殉教するときも、イエス様は御座で立っておられました。立って応援されるほど、ステパノを重要に思って、ともにおられたということです。3つ目、今も三位一体の神様がともにおられることを知りましょう。三位一体の神様は、私たちの重要な旅程にともにおられます。そして、道を導く、道しるべをみことばで教えてください。ですから、その道しるべが私たちの人生のターニングポイントになるのです。

イエス様の伝道方法を聖書で確認してついて行くように祈りましょう。

神様、イエス様の伝道方法を覚えて、現場で神様とともにいる興義を味わいますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

## 病んでいる人を癒やすことができる教会

**使19章8~20節** パウロは会堂に入って、三か月の間大胆に語り、神の国について論じて、人々を説得しようと努めた。(8)

現場には霊的問題とさまざまな精神病、悪霊に取りつかれた病気が急増しています。そして、中毒時代が来るでしょう。このような問題は、ただ福音によってだけ解決することができます。ですから、ただ福音だけを伝える教会に、神様は無条件に働かれるでしょう。しかし、多くの教会が、この問題を癒やすことができずにいます。それなら、Remnantは何を祈って、どんな準備をすれば良いのでしょうか。

1つ目、刻印を変えましょう。刻印されたとおりに、答えが来るからです。パウロは、マルコの屋上の部屋にあった力を回復させました。また、3か月の間、神の国に集中しました。その結果、多くの病気が治って、弟子が起きました。2つ目、根を癒やしましょう。根を下ろしたとおりに、実を結ぶからです。パウロは2年間、講堂でみことばに集中しました。病気には神様の大きな計画があるので、絶対にあきらめてはなりません。3つ目、体質が変化するように祈りましょう。体質になったとおりに、運命が変わるためです。パウロは、魔術師とスケワの息子と悪霊に取りつかれた者を癒やしました。それを見た多くの人が、神様に恐れを抱いて、あがめるようになり、悔い改めました。その結果、みことばがさらに力強く広まりました。

Remnantは一日に一度でも刻印、根、体質を変える祈りをしましょう!

神様、神様が願われるその働きに用いられるように、祈りを味わわせてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

申 6 章 4~9 節 私 が今日あなたに命じるこれらのことばを心にとどめなさい。(6)

神様は、一週間あれば行くことができる所なのに、イスラエル民族に 40年もある歩くようにされました。カナンに入る前に、契約を与えて連れて行くためでした。Remnant が荒野で必ず知る内容があります。

1 目、創世記の契約です。人間は神のかたちとして創造されました。それゆえ、すべての人は神様を知って信じる必要があります。これを知らず、三つの事件が起こってわざわいが臨みました。それを解決する方法が、創世記に記録されています。2 目、出エジプト記の契約です。キリストの契約を回復した日、エジプトから出ました。そして、三つの祭りの奥義を味わって、荒野の道を行いました。神様が契約の箱と幕屋で、人々の生活を導かれました。3 目、レビ記で最も重要な内容は、礼拝回復です。4 目、民数記にはイスラエルの 12\*部族の人数を記録しました。その中には、重職者と残りの者 Remnant がいます。5 目、申命記は、今まであった、とてもすばらしい神様の力を次世代に刻印、根、体質になるようにしなさいという内容が含まれています。

Remnant は創世記、出エジプト記、レビ記、民数記、申命記を通して、神様がくださる契約を握って味わい祈りましょう。

\*部族：イスラエルの民が社会を構成する基本単位を意味します。

神様、荒野の最後の教訓が私のことになりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

ヨシ 1 章 1~9 節 あなたの一生の間、だれ一人としてあなたの前に立ちただかる者はいない。わたしはモーセとともにいたように、あなたとともにいる。わたしはあなたを見放さず、あなたを見捨てない。(5)

Remnant は世界福音化のために、荒野に行くときに神様が与えてくださったみことばを握って行きましょう。Remnant が握って行くみことばは何でしょうか。

1 目、ヨシ 1 章 1~9 節です。神様がヨシに、モーセとともにいたように、あなたとともにいるので、恐れてはならない、強く雄々しくあれと言われました。また、すでにその地を与えたと言われました。2 目、ヨシ 3 章 1~13 節です。紅海を渡って 40年も過ぎたので、神様の働きを忘れることもありました。それゆえ、ヨルダン川を渡って、次世代のために記念碑を作りなさいと言われました。3 目、ヨシ 6 章 1~20 節です。契約の箱を担いだ者の後についてエリコの町のまわりを回るとき口を開いてはならない、そして、最後の日には、いっせいに大声を出しなさいと言われました。不信仰といらないことを言わないだけでも働きが起こります。4 目、ヨシ 10 章 10~14 節です。連合軍との戦争の途中で、太陽と月がとどまる空前絶後の答えがありました。5 目、ヨシ 14 章 6~15 節です。昔にカナンの地に偵察に行って、10人の人が入ることはできないと言ったアナク山地に、再び、到着しました。そのときカレブが「この山地を私に与えてください」という信仰の告白をしました。

Remnant は、契約のみことばを握って朝と昼、夜に祈りで味わいましょう。

神様、荒野にだまされなくて、神様が与えてくださったみことばを持って荒野を征服しますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン